



令和4年2月7日

各 位

会 社 名 グランディハウス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 林 裕朗
 (コード番号：8999 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長 齋藤 淳夫
 (TEL. 028-650-7777)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年8月4日に公表しました令和4年3月期の通期業績予想（連結・個別）及び配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 令和4年3月期 通期連結業績予想数値の修正（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,400	3,200	3,000	2,000	68.37
今回修正予想(B)	54,000	4,000	3,800	2,500	84.70
増 減 額(B-A)	1,600	800	800	500	
増 減 率(%)	3.1	25.0	26.7	25.0	
(ご参考)前期実績 (令和3年3月期)	47,154	2,299	2,095	1,724	59.30

(2) 令和4年3月期 通期個別業績予想数値の修正（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	2,400	1,900	64.96
今回修正予想(B)	26,000	2,700	2,100	71.15
増 減 額(B-A)	-	300	200	
増 減 率(%)	-	12.5	10.5	
(ご参考)前期実績 (令和3年3月期)	23,595	2,152	1,914	65.82

(注) 令和4年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、前期実績の各数値については、遡及適用後の数値となっております。

(3) 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、住宅業界においては新たな生活様式を志向する動きが出るなど、住宅需要は堅調に推移しています。このような中、成長エリアと位置づける首都圏（埼玉県、千葉県、神奈川県）での販売が好調に進んでいること、またウッドショック等による木材や建築資材の価格上昇による影響は、販売価格の適正化や原価圧縮の取り組みが進捗してきていることで、売上高、利益とも前回公表の連結業績予想を上回る見込みとなりました。

個別業績予想につきましては、栃木県エリアでの販売が概ね計画どおりに推移しており、売上高は据え置きとし、一方で利益は上記と同様の理由により前回予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金(円)	
	期末	合計
前回予想	24.00	24.00
今回修正予想	30.00	30.00
前期実績(令和3年3月期)	24.00	24.00

(2) 修正の理由

当社は、企業価値を増大させ、株主の皆様への利益還元を積極的に行うことを経営上の重要課題の一つとして位置づけており、剰余金の配当につきましては、連結配当性向35%を目標として業績に応じた配当政策を実施することを基本方針としております。

当期の期末配当予想につきましては、上記の通り連結業績予想を上方修正することに伴い、配当予想を修正し、1株につき30円にさせていただきます。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上